

令和5年度第1回山口県医療審議会・議事概要

1 日時・場所

令和5年11月14日(火) 14:00～15:10 ・ 共用第2会議室

2 審議（委員の主な意見）

○特定労務管理対象機関の指定について

【神徳委員】

- ・山口県立総合医療センターの医師も労働者であり、年間960時間を超える残業を認めることは重い決断だ。今後、医師確保が進んでいくことを期待して賛同するが、適切な管理をお願いしたい。

＜議案は承認された＞

3 協議（委員の主な意見）

○第8次山口県保健医療計画の策定について

【神徳委員】

- ・がんは早期発見により治療が可能であり、がん検診の受診促進が重要と考えるが、本県の受診率が低い原因についてどう考えているのか。
⇒【県】県が実施したアンケート結果によると、「時間がないから」や「何かあればすぐに受診できるから」との回答が多いため、引き続き、がん検診の受診の重要性について、県民への理解促進を図っていきたい。

【松永会長】

- ・これからのへき地診療や地域包括ケアを支える総合診療医の養成・確保が重要であるため、へき地医療拠点病院や研修プログラム基幹施設と適切な役割分担の下で連携し、引き続き、具体的な取組を進めてほしい。

【西生委員】

- ・中小病院やへき地だけでなく、大病院においても看護職員の確保が難しくなっている。まずは、県内に就職・定着してもらうことが重要なので、全体的な視野を持った確保対策をお願いしたい。

【吉田委員】

- ・薬局薬剤師については、非常勤が多いためデータ上は多く見えるが、人手不足で困っている。特に若手を中心に薬剤師確保にしっかり取り組んでほしい。
⇒【県】薬剤師が少ない状況は承知しており、今年度立ち上げた薬剤師確保検討チームを中心に、総合的な確保対策に取り組んでいきたい。

○山口県感染症予防計画の改定について

【神徳委員】

- ・コロナ対応では、保健所の方が不眠不休で働く姿も目にしており、大変お世話になった。保健所の体制強化については、十分な考慮をお願いしたい。

【松永会長】

- ・県民や医療従事者を感染症に伴う差別等から守っていくことが重要だ。情報が少ない感染初期段階では、こうした問題が起こりやすいと認識しているが、対策や体制確保など考えがあれば教えていただきたい。
⇒【県】国と連携して早期に正しい情報を入手し、それを迅速に県民に提供できるよう取り組んでいきたい。

【松永会長】

- ・（全体の議論を通じて）各委員からの意見を十分踏まえて、計画最終案の策定や医療機関との協定締結などに丁寧に取り組んでいただきたい。

以上